

## <対策のポイント>

家畜排せつ物処理の円滑化を通じた生産コスト低減を図るとともに、畜産・酪農経営のスマート化を後押しする新たな経営モデルを確立するため、畜産バイオマスを活用したバイオガスプラントの導入を支援します。

## <政策目標>

家畜排せつ物の利用率目標：90%（令和7年度まで）

## <事業の内容>

### 畜産バイオマス地産地消施設整備

家畜排せつ物等の畜産バイオマスを活用し、エネルギーの地産地消に資するバイオガスプラント等を導入するために必要な調査・設計及び施設整備を支援します。

#### 《要件》

- ・エネルギー利用と肥料利用の複合利用に取り組むこと
- ・先進的な機器・技術を導入し、エネルギー地産地消に取り組むこと
- ・生産コスト削減等により、経営の生産性・収益力向上を実現すること

#### 《支援対象施設》

前処理施設、発酵槽、ガスホルダー、発電機、熱利用施設、貯留槽 等

## <事業の流れ>



## <事業イメージ>



## エネルギーの地産地消

畜産・酪農経営のスマート化により、新たな電力需要が創出

➡ バイオガスのフル活用により、エネルギー需要に対応

(例)

搾乳ロボット



搾乳ロボットの終日稼働により、省力化

哺乳ロボット



哺乳作業を自動化

次世代閉鎖型畜舎 行動監視システム



畜舎環境を自動制御



赤外線カメラで人に代わって24時間行動監視